

第1回 清水港カーボンニュートラルポート協議会 議事概要

日時：令和3年11月30日（火）14:00～15:30

場所：清水マリビル6階大会議室

開催形式：対面及びWebの併用

【議事概要】

○ 清水港カーボンニュートラルポート協議会について

- ・事務局より、協議会開催要綱（案）を説明し、承認いただいた。
- ・事務局より、今後の協議会の進め方について説明した。

○カーボンニュートラルポートの取組について

- ・国土交通省中部地方整備局より、カーボンニュートラルポート形成に向けた施策の方向性等について説明した。

○県・市の施策について

- ・県経済産業部産業革新局より、次期「ふじのくにエネルギー総合戦略」の概要について説明した。
- ・市環境局より、2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた静岡市の取組について説明した。

○主な御意見

- ・カーボンニュートラルポート形成に向けた取組は、港として必要なことである。
- ・関係者で意見を出し合い検討することは重要なことである。
- ・清水港というコンパクトな港は、カーボンニュートラルポート形成のモデル港となり得る印象がある。
- ・カーボンニュートラルポート形成に向けて、企業が新しい取組を行うには、行政からの力強い支援が必要である。
- ・荷役におけるカーボンニュートラルには、①荷役機械そのものへの投資、②水素等の供給体制の整備に加え、③水素等の価格が大事であり、この3点を整えていく必要がある。
- ・水素、アンモニア等の次世代エネルギーは、技術の面ではこれから開発していく段階であり、移行期である短期・中期では、既存エネルギーの利用も考慮する必要がある。